

オリーブの島づくりに向けて 高校生のアイデアに期待



▲天草工業高校の徳永次郎校長(前列左)と安田市長。
後ろは同校の生徒たち

市と天草工業高校、苓洋高校は6月26日、オリーブの共同研究に関する協定をそれぞれ締結しました。協定は、オリーブの栽培・加工・販売を一貫して行う“6次産業化”の実現を旨として、共同研究を行うものです。天草工業高校では、オリーブの小型搾油機の開発、苓洋高校では水産物を使用した加工品の開発などが行われます。

この日は、協定調印式を両校でそれぞれ実施。安田市長は、「高校生のアイデアに期待しています」と話していました。



▲苓洋高校の山下和毅校長と安田市長

天草海道おもてなし一斉除草

7月14日、天草地域を通る国道沿いの除草を行う「天草海道おもてなし一斉除草」が実施され、全体で約1,000人が参加しました。県と天草市・上天草市・苓北町の主催で昨年からは行っているもの。集合場所のひとつ、本渡看護専門学校には住民や各種団体、市職員など約80人が集合。参加者は草刈り機やかまを手に、天草瀬戸大橋の道路沿いに生い茂った雑草を刈り取っていました。



きれいな道路の景観を 目指して



▲天草瀬戸大橋で作業を行う参加者たち

ふるさと応援寄附金

たくさんの応援をいただきました

●寄附の状況をお知らせします

「天草市ふるさと応援寄附金」は平成20年6月に始まり、同事業への取り組みに対するご理解とご協力により、多くの応援をいただくことができました。平成24年度中に寄せられた寄附金は、全国各地から107人(111件)・953万228円の寄附をいただいています(詳細は右表をご覧ください)。

寄附をいただきました皆さんはもとより、応援寄附金のPRをしていただいた市民の皆さんに心から感謝申し上げます。

●引き続き“天草ファン”募集中!

天草市は、藍より青い海や緑深い山々など豊かな自然に恵まれており、市民が安心して快適に生活できる環境づくりや産業の振興と地域間交流を図りながら、地域資源をいかしたまちづくりに取り組んでいます。

これからも、『日本の宝島“天草”』づくりへのご支援として、全国各地でご活躍の皆さんからの「天草市ふるさと応援寄附金」へのご協力を引き続きお願いします。あわせて、市民の皆さんには、この取り組みをより多くの人に知ってもらうために、市外にお住まいの親類や知人の皆さんなどへのPRにご協力をお願いします。

寄附の手続きについては、事前の申し込みが必要です。申込書は、直接電話で本庁・財政課へ請求していただくか、市のホームページから取得していただくことになります。

◆メニュー別の寄附件数と金額

- 1**“天草の宝”『地域コミュニティづくり』
・10のまちづくり協議会と51地区振興会への支援・補助 ……70件・632万4,000円
- 2**“天草の宝”『安心して元気に暮らせる環境づくり』
・高齢者などの体力・健康づくり事業や、安心して子どもを生み育てる環境づくり事業など ……8件・130万円
- 3**“天草の宝”『将来を担う子どもづくり』
・少人数学級の推進や特別支援学級への補助教員の設置事業、学校図書館の活性化事業など ……6件・23万4,228円
- 4**“天草の宝”『若者が安心して働ける産業づくり』
・企業誘致促進事業や担い手育成支援事業など ……6件・10万円
- 5**“天草の宝”『拠点づくり』
・市役所本庁舎の建設事業(平成27年度をめぐりに建設を予定) ……1件・5,000円
- 6**市長おまかせコース
・特に事業の指定がない場合は、市長が必要と認める事業に活用 ……20件・156万7,000円

◆地方別の寄附人数と金額

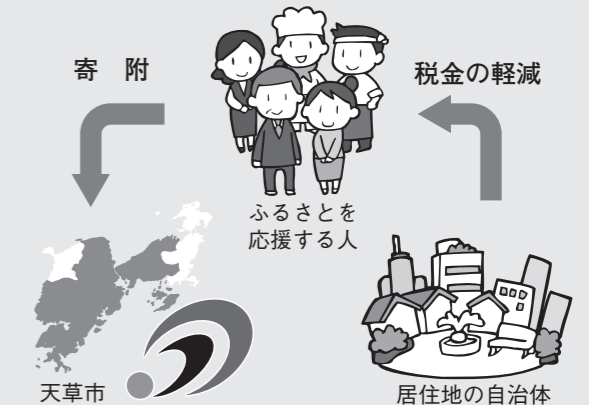
地方名	人数	金額
関東	57人	482万円
中部	4人	21万円
近畿	25人	182万9,000円
中国	1人	5万円
四国	1人	1万円
九州(熊本県内を除く)	11人	138万5,000円
熊本県内	8人	122万6,228円

一回×回 ふるさと納税制度とは

ふるさと納税制度とは、「ふるさとを応援したい」「ふるさとの発展に貢献したい」と思われる皆さんが、出身地などの地方自治体(都道府県・市区町村)に寄附をした場合に、寄附金の2,000円を超える部分について、居住地の住民税(所得割)のおおむね1割を限度に、所得税と翌年度に課税される住民税から税額控除されるものです(右イメージ参照)。

なお、法人が寄附をした場合は、法人税を算定される際に、寄附金の全額を損金に算入できます。

◆ふるさと納税制度のイメージ



【問い合わせ先】本庁・財政課 ☎1111